

行なうまいと。二のちうに聞くとあり。手
に福生駅前の百貨店等が多くあるが、手
にも実際に買物客が来るかと。百貨店とか、二階、三
階に買物をしている。その時々で発生した状態に
店員等に好む買物客の発生が、事故があつたとき
避難する状態とか。手には緊急に救出する方とか、
具体的には消防長の方から手は救出する方とか、
その点について、一度明確な回答を願う。と、思
います。

手には長からスーパーカーの設置に好む、オロイ学校
に近づくところ、一基に下り、と、答へてくれた。か
つては百貨店、カトリックの多額な会費を投資せしめられ
はうまいと。二は、やはり予算案も、はうまいと、思
います。やはり、今実際に、けで放送されて、いるが、
九時には、手と毎日、同じよう、放送を、増進の
方に、頼んで、現状、や、あり、手、す、け、め、と、も、
やはり、け、の、新



しく、つづかりつづへ、と、進展、と、い、現、状、は、人、で、す。
その、う、現、状、に、いつ、まで、下、る、と、も、う、う、う、三、百、六、十、五、日、同
じ、う、う、二、と、セ、レ、リ、返、え、と、い、う、と、う、う、二、と、は、その、け、の、行
政、面、事、に、好、む、所、か、バ、ラ、ン、ス、が、あ、る、人、で、は、は、い、か、と、考、え
ら、れ、る、や、け、と、コ、ジ、に、手、す。お、い、う、う、う、う、う、散、育、と、か、
先、き、程、議、員、か、う、買、物、が、あ、り、手、に、た、け、め、と、も、防、犯、面、の
放送、と、か、は、り、住、民、の、福、祉、に、密、着、した、放送、と、い、う、も
の、セ、は、り、い、ん、り、か、の、形、で、も、う、。下、に、予、算、が、二、と、は、け
か、か、ら、か、う、と、う、と、も、で、き、は、い、と、い、う、と、う、の、か、と、う、か、
は、ん、か、う、う、う、予、算、を、と、う、と、う、と、う、と、う、予、算、の
交、換、手、算、で、若、子、の、テ、ー、プ、と、う、け、の、行、事、等、で、
セ、か、く、セ、レ、け、の、自、力、以、上、の、金、を、投、入、設、置、と、あ、る
ス、ロ、ー、カ、ー、セ、は、り、十、分、に、い、か、と、い、か、は、り、け、は、住、民、の
福、祉、を、け、長、が、叫、ん、で、い、る。買、物、客、動、に、密、着、と、う
い、ない、人、じ、や、は、い、か、と、思、う、や、け、と、う、と、い、手、す。その、点、に
て、け、長、は、買、物、に、は、か、かり、は、と、あ、る、の、で、す、け、め、と、も

十九号セシ議明申しおげます。
 福生は取負定数各例の一切を改正する各例案で
 ころいす。
 本庄は消防本部発定にとおほうかの
 らころいす。
 中身三月消防本部を設けることと
 画いたし示したか、二に依り示し消防士の募集を行
 はし示し現任の人数を消防学校に入学させておしす。
 ほか土月日から二名入校させる予定でころいす。
 の消防部長以下十名とほり示し、
 いづれいとはるわけをころいす。
 現任の定数は
 二、三名を必要とし示すが、それと共に来年度の暑
 負も現任募集せぬめくおしす。
 採田セシたしとあえておしす。
 従い示し四十四
 年度の計画人員十名の増員をお認めしたとさく
 本案を二提案出しあげたおめくころいす。
 十人を十
 六人おし示し二十一人にいたしといふこととさく
 あり。そのつぎの計画十人をおし示し七人といひます。

まずのほ、
 結核現任のは長初局の百六十一人に十六
 人セプラスしたし示しは長初局百七十七人とすると
 いうこととさくころいす。

ちうと結核を贈り示し二議決したとさく
 すちうお願ひいたし示す。

議長(田村匡雄君) 二に依り賛成を述べます。

議長(田村匡雄君) 二に依り賛成を述べます。

おほかりいたし示す。
 議長(田村匡雄君) 二に依り賛成を述べます。

議長(田村匡雄君) 二に依り賛成を述べます。

議長(田村匡雄君) 二に依り賛成を述べます。
 金条例を議決に決し示す。
 事務局長セシ議案の
 議決をいたし示す。

（水谷）
（末次）
（船橋）
（大沼）
（一般質問）
（川口）
（一般質問）
（中里）

（要請）と云ふ有る。

議長（田村匡雄君） 二、要請と云ふ。おのれ議長が

おのれ議長が原案とありおのれ議長が示した。

議長（田村匡雄君） 日程が六議案が六十七号昭和四十二年

度福生は一般公府補正予算が二号と議題に供して示す。

軍務局と云ふ議案の附議をいたして示す。

（青山）議案係長（附議）省略

議長（田村匡雄君） 理事有かり提案理由の説明を求

めする。

（は）長（江川常太郎君登壇）

は長（江川常太郎君） お許しをいたして下さる福生は一般公

府補正予算が二号に三つと云ふ説明をさせていた

て示す。

本議案は二回目の一般公府の補正予算であります

か、総額が五十五万三千四百円と追加したて示す

た入るおのれと云ふ七億と云ふ二億九千四百一十円とするもの

であります。

おのれと云ふ三月の定例会におきましては既に好する

四本の柱を中とするおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

おのれの教育問題におきましておのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

さ、現在おのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

面いおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

建設におきましておのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

助金におきましておのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

校のペースでは早期に全校に体育館を建設して市民の二

要望に二たえることは困難と云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

度におきましておのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

おのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

に示しておのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

最近おのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふおのれと云ふ

時に伊勢、高松生の等々におきましてシンナー遊びにつき

子どもは先き程三箇月がおりて下とあり慢慮すべく
お慮であります。やういふ今日やめが好ま貴といはし
そめずかまはあります。すなわち前とさせていたま
す。

「またエ、交通の問題におきましては、すぐには
の二とほは存じますが、自動車取得税に關する交付金が
なすは送いたして、交通安全対策特別交付金が
百九十九万は交付する二には送いたしてあります。
は道の舗装にこそ、今回は二百万を、牧は道改良
費とて、前よりたしてあります。また地元におきま
して、渡り野の改修に要した費用のうち、百万を、元
の協力金に交付した。子ども懸念の解決を、はからうと思
う。オオであります。渡り野設置に、すなわち、地区の格
段に、下りに、買収せしめると、解決したためであります。
二、わうと、総合した。すなわち、土木費の補正額は、すなわち、百
九十九万は、は、今回の補正予算の三割近くを占める

二とほは存じます。

交通安全対策費では、九十九万を、前より、当初予算
とあり、すなわち、四百十八万を、前より、たして、

その他、消防費におきましては、消防団員に対する被服
費、あるいは、消防団員の改修費等、消防団の要望に、これら
と、わい、消防団員に対する消防改善事業の補助金
九十九万は、前より、たして、

その反面、オオの確保に、下りに、協力した。すなわち、
是實に、すなわち、は、下りに、好する。オオの、すなわち、百二十万は、
消防自動車に、好する。オオの、百二十万は、増加した。オオの、ぐ、こ、
います。

以上、甚だ、簡単に、述べて、います。が、
現当、上野、主査、は、説明、を、あげ、る、二と、ほ、に、いたして、います。私
の説明、を、終、り、して、いた、います。

企画、調査、室、主査、（上野、重勝、君）、昭和、四十三年、度、一般、会計、補
正、予算、オオ、二と、ほ、の、内、訳、に、ついて、説明、を、申、し、あげ、ます。

正
常
可
正
常
可
正

大増につぎまゝは下たいまは長から説明したとありて
ついでに示すが、そのオニ条におきまゝとて今回の補正額五
千五百三十一万四千四百七十九円と訂正したと示す。七億七千二百九十
四万二千四百七十九円と示す。

当初予算と比較したと示すと、当初予算が八億二千
四百九十万九千四百七十九円とありて、八億五千四百七十九円の増
加額が補正オニ、オニにまゝ追加されてありて示す。

ほかオニ入の大きなものですが先般は長の説明に
ありて示した通りに、自動車取得税交付金は千二百六十
十万円、それから地方交付税が二千四百二十一万二千円、
それから起債が千二百八十九万円、二つが収入の大きな
ものついでに示す。

さらにオニ入の大きなものは下たいまは長の説明が
ありて示したとあり、不費で千六百五十九万円、二つは今回
の補正の二十九万に相当したと示す。さらに教育費
におきまゝとて七百六十九万五千円、予備費に千五百万

オニ小学校の体育館の増築とて訂正してついでに示
すのであつて、まゝとて二千三百六十九万五千円と示す。二つ
は今回の補正予算の率にいたして千四百一十一%に該当した
と示す。従つてまゝとて、土木と教育費の額を定めると本
予算の七十一%を占めてありて示す。

それからオニ小学校の体育館の建設につぎまゝは債務
負担行為で実施するとして千二百七十九万とあり
て示す。この内訳は千二百七十九万の千二百七十九万とあり
て、債務負担行為で実施した場合におきまゝ、来年度に百万
程度の、庫補助金を組むとして千二百七十九万とあり
て示す。この千二百七十九万は千二百七十九万とありて示す。
従つてオニ条におきまゝ、債務負担行為の課税
をいたしたとて千二百七十九万と示す。

それからオニ条におきまゝは下たいまは、あげて示した
地方債の増加分が千二百八十九万五千円と訂正しようとするもの
ついでに示す。

つぎの頁をお開きいただきまして、お入の帳簿に
るご説明をさせていただきますと思ひます。

まず自動車取得税交付金におきましては先きほ
い申し上げましたように千二百六十万円を補正したものと
するものとござります。

つぎに地方交付税をござりまするが、これは普通交付
税の分を今回千四百三十万円に千二百万円と確定したものと
佐いまして当初予算より千四百万円を組んでござりまするの
その差額の千四百三十万円に千二百万円を計上したものと
するものとござります。ほか千二百四十万円に千二百
万円交付税一千四百万円を食入でござります。

つぎに交通安全対策特別交付金をござりまするが、
いわゆる交通違反の罰金等の他のものが市町村に交付
される分をござります。それが百九十九万三千円を
ござります。

使用料および手数料におきましては、千九百九十

の概とござりまするが、これはプールにおきまして使
用料が九十九万三千円ほど概収にござりまする。

これは教育団におきまして説明のとおり天候不順に
より予定とあり利用が少なかったとござりまする。

さらに住民の使用料千七百四十円等がござりまする、
差引きいたしますと千九百九十円の概とござりまする
とござります。

つぎの地方交付金をござりまするが、これは千九百
九十円の概とござりまするが、これは概といたしますと
はプールにござります補助金を当初予算におきまして三
百万とござりまするが確定が百四十万円とござりまする
引き二百四十万円の概収、それから増収分としてござ
りまするは踏切
道の改修にござりまする千四百万円が追加交付され
る、差引きいたしますと千九百九十万円の概とござ
りまする。

地方交付金の二百四十万四千円をござりまするが、これは